

地域医療連携だより

H29.5
第39号



兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL.0798-45-6111(大代表)
<http://www.hosp.hyo-med.ac.jp>



医療支援センターの創設について

医療支援センター長 芳川 浩 男



平素は当院の運営ならびに地域連携につきまして格別のご協力、ご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年4月に創設された「医療支援センター」は、従来の「地域医療・相談センター」業務に加えて、患者さんの外来受診、入院、退院（転院）、在宅ケアにいたるまで、切れ目のないサービスを提供し、本学が担う特定機能病院の役割である高度先進医療・急性期医療やがん診療連携拠点病院としての役割を果たすことにあります。そのために、当センターの医師・看護師・理学療法士・ソーシャルワーカー・薬剤師・栄養士・事務職員などの多職種が参画し、院内はもちろん、地域の医療機関や医師会、保健所、行政、福祉などとの連携を密にし、患者さんに多面的な支援を行います。当センターは、地域の医療機関と本院をつなぐ窓口でもあり、円滑な診療を促進し、患者さんの社会面での支援も行っていきます。

さらに、当院の医療等に関する相談窓口を一元化し、すべて当センターでお受けし、相談内容に応じて適切な専門部署の担当者に引き継ぐ体制を5月から開始します。

近年、病院・病床の機能分化がより明瞭になり、病態に即した医療の提供のため、益々、医療機関の診療連携は重要になっていきます。従来の「地域医療・相談センター」は平成18年1月に本学に設置され、初代センター長には難波光義現院長が、続いて増山理教授、中野孝司教授、西信一教授がセンター長に就かれました。新しく生まれ変わった「医療支援センター」を通じて、地域の先生方と病診・病病連携の更なる強化を図り、患者様へのサービス向上に努めてまいります。ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

大腸がんの腹腔鏡手術について～地域医療機関の先生方へ～



下部消化管外科 准教授 池田 正孝
 講師 塚本 潔
 主任教授 冨田 尚裕

平素より患者さんをご紹介いただきましてありがとうございます。今回は、平成29年4月1日より赴任致しました池田正孝が腹腔鏡手術についてご紹介させていただきます。

近年の大腸がんに対する腹腔鏡手術の普及はめざましく、全国アンケートでは大腸がん症例の70%以上の症例が腹腔鏡で行われています。腹腔鏡手術の利点は創が小さい、患者さんへの負担が少ないというだけではありません。腹腔鏡の光学精度の向上により詳細な画像をモニターに写し、非常に小さい物も拡大して見ることができます。加えてエネルギーデバイスの進歩により、血管1本1本を確実に止血し、出血しない層を剥離しきわめて精緻で、しかも腫瘍学的にも理にかなった手術が出来るようになりました。しかし、そのような手術を行うためには腹腔鏡手術に熟練した医師が必要です。当科では日本内視鏡外科学会の大腸の技術認定医である池田と塚本の2名が在籍しております。腹腔鏡手術の欠点としては時間がかかり、臓器触知が出来ないといわれますが、認定医による手術の定型化で安全確実で、より手術時間の短い手術ができます。腹腔鏡手術を希望されるどのような大腸がん患者さんでも安心して当院へご紹介していただける環境が整っております。是非、患者さんをご紹介ください。

開催報告：第13回病診・病病連携の会

平成29年2月25日(土)午後5時から、阪急ターミナルスクエア・17において、川西市医師会と当院との共催で病診・病病連携の会を開催致しました。本会は、平成26年度の第11回より、阪神圏域の各市医師会との共催形式をとっており、芦屋市医師会、西宮市医師会に続き、今年度は川西市医師会との共催となりました。はじめに、川西市医師会の藤末洋会長にご挨拶をいただき、「日常の外来患者に対して注意してほしい感覚器疾患～眼科・耳鼻科・皮膚科疾患～」をテーマに、当院から三名の医師が講演しました。川西市医師会から32名、当院7名を加えた計39名が出席し、連携の会、懇親会とも盛会のうちに終えることができました。本会の共催にあたり、ご尽力賜りました川西市医師会様のご厚情に深謝し、ここにご報告申し上げます。

講演1 「緊急手術疾患への対応」

講師：眼科 講師 木村 直樹

講演2 「乾癬がほぼ全例で寛解する最新治療」

講師：皮膚科 講師 今井 康友

講演3 「メニエール病と良性発作性頭位めまい」

講師：耳鼻咽喉科・頭頸部外科 主任教授 阪上 雅史

開催報告：第6回・第7回阪神沿線健康講座

阪神沿線健康講座は、兵庫医科大学病院と阪神電気鉄道(株)が沿線住民の健康増進による沿線活性化を目的として共同開催しており、今回は、社会的にも関心が高まっている「認知症」をテーマに、第6回・第7回を大阪梅田のハービス ENTで開催しました。

第6回については、平成29年2月1日に神経内科の芳川浩男主任教授より「『若年性認知症』の早期発見・早期対応」を講演していただき、89名の参加がありました。

また、第7回については、平成29年3月8日に精神科神経科の宇和典子助教より「認知症との向き合い方～家族が認知症になったら～」を講演していただき、113名の参加があり、第6回・第7回とも盛会のうちに開催することができました。

診療部長就任のご挨拶



呼吸器内科 木島 貴志

4月1日付けで、呼吸器内科の診療部長を拝命致しました。肺癌、肺炎、慢性閉塞性肺疾患（COPD）は世界の全死亡原因の上位を占めており、難治性呼吸器疾患は益々増加の一途を辿っております。当科は、地域事情もありこれまで全国有数のアスベスト肺疾患や悪性胸膜中皮腫の診療拠点として活動してきましたが、今後は上記に加えて間質性肺炎や喘息なども含めた呼吸器系の一般的疾患（common disease）の診療のさらなる充実にも力を注ぐことで、地域医療に貢献して行きたいと思っております。精査や入院加療が必要な患者様がおられましたらご遠慮なく当科へご紹介いただき、診断がつき治療経過が安定した後はまた先生方にお返しするという形で、今後より良好な病診連携を築かせていただけますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



放射線科 山門 亨一郎

放射線医療センターは画像診断部、IVR 診療部、放射線治療部、核医学・PET 診療部の4部門から成り立っています。私の専門は、IVR です。ラジオ波凝固療法で、肝癌は勿論のこと、腎癌や、肺癌、骨転移等の悪性腫瘍の他、原発性アルドステロン症等の良性腫瘍も治療ができます。また、血管塞栓術は、肝癌以外にも、子宮筋腫等に適応が拡大され、良好な治療成績が報告されています。画像診断部では最近最新のMRIを導入し、最先端の画像診断を提供しています。放射線治療部門では、高精度放射線治療を行い、阪神地区の中核病院として大きな役割を果たしています。核医学・PET 診療部では、診断のみならず、リンパ腫や骨転移病巣に特異的に集まる放射性物質を注射して治療を行う内用療法も行っています。お困りの症例相談症例がございましたら、是非、ご相談ください。



医療社会福祉部 大松 重宏

4月より医療社会福祉部長、医療支援センター副センター長を拝命いたしました。言うまでもなく、大学病院もますます地域に根差した医療機関としての存在が期待されています。私は社会福祉の立場で患者さんご家族のくらしを支援してきた経験から、地域の医療機関、介護・福祉機関の皆様と協働して「地域連携」から「地域包括ケアシステム」の構築に尽力する所存です。また、患者さんを主体と考えるとわれわれ大学病院が患者さんのくらしを支える社会資源の一つであるとも考えられ、地域から求められるニーズも刻々と変化しています。それらの問題解決を支援すべくフロントラインにいるソーシャルワーカーたちはこれまで以上に研鑽して参りますので何なりとご要望をいただければ幸いです。今後ともかわらぬご指導ご支援をよろしくお願い致します。

センター着任のご挨拶

医療支援センター 看護師長 橋本 記代子

4月1日付で医療支援センターの入院支援専従に着任いたしました。

当院では、平成26年10月から「入院支援センター」を開設し、それまで入院時に病棟看護師が行っていたデータベースの情報収集を、入院申込み時に行うことを開始しました。クリニカルパス使用患者に限定して行ってまいりましたが、4月以降徐々に対象患者を拡充し、6月末には全ての予約入院患者に行う予定です。

このたび、医療支援センターとして看護師・MSW・事務職員が一堂に集約されたことで、入院申込み時から治療後の生活を見据え多職種連携した支援や、入院前に地域の担当ケアマネジャーや訪問看護師の皆様との連携などシステム作りを目指しています。

地域の皆様のご意見を頂きながら進めてまいりたいと考えていますので、宜しく願いいたします。

医療支援センター 看護師長 藤井 利江

この度、医療支援センターに着任しました藤井利江です。医療支援センターという兵庫医科大学病院の顔となる部署に異動となり、心新たに張り切っております。私は、これまで慢性疾患看護専門看護師として、循環器内科外来や入院中の心不全患者さんを中心に、再入院を繰り返さないためのセルフケア支援に携わってまいりました。その中で、独居や高齢世帯の患者さんには、訪問看護師さんやケアマネジャーさんと密に連携を図ることで、心不全増悪の早期発見、対処ができるようになり、再入院回避ができていると実感しています。これからも、病病連携、看看連携を深めながら、地域医療の充実に努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

兵庫医科大学病院からのお知らせ

健康医学クリニックで定期的な健診を

“がん”をはじめとした生活習慣病の予防と早期発見を担う人間ドック専門施設「兵庫医科大学 健康医学クリニック」が平成27年4月にオープンしました。兵庫医科大学病院や関連病院と連携し、疾患が発見された場合には迅速で質の高い医療を提供する体制を整えています。

お問い合わせ先：健康医学クリニック 0120-682-701（直通）



救急ホットライン

医療関係者専用の各科医師への直通電話です。24時間365日、交換手を通さず、各科医師に直接かかります。緊急症例、診療のご相談など何でもお気軽にお電話ください。

☎ 全ての重症疾患もしくは受け入れ先に迷ったら・・・

0798-45-5711 (救急科医師)

循環器疾患と思ったら

080-2475-7380 (循環器内科・冠疾患内科医師)

脳疾患と思ったら

080-2529-8239 (脳神経外科医師)

画像転送用アドレス：hyougo.nougeka@gmail.com